伝統保存研究セッション

東西の水車大工比較

ヨーロッパの風車と水車

Millwright at Japan and Europe

正 川上顕治郎（多摩美術大学）

kenjiro KAWAKAMI (Tama art Univ.)

This paper described different windmill and watermill at Japan and Europe,
So different millwright.

Key words: millwright, watermill, windmill

はじめに

我が国は、古来から稲作水田耕作中心の歴史的背景が有るので、農用に使用されることが多いので、水車が相当自由に使用される時代は、明治時代に入ってからの一時期でなかったかと考えられる。

東西の水車大工の相違

三谷一馬氏の江戸職人図聚には、水車大工車師、摺り臼師、臼の目立師、等の職業が出ている（図－１）（１）。

実際は専門技術者としての水車大工の存在については疑問のあるところである、例えば前田清志氏の報告「くも手とからみの型式」

（図－２）（２）の様に多様な水輪のパターンが出現するのは、性能効率面からの評価という技術サイドからの評価よりも、地方の大工の美的趣味的評価の方が重要視されることが、この様な多様性を生み出す原因と考えざるを得ない。

「出典：絵本『陶本徒然草』 元文五年 西川祐信画」

Fig-1 Japanese Millwright

木製水車 (Wooden)

Fig-2, Japanese Waterwheels pattern

欧米系水車大工

欧米はパン食の文化であるので常に多量の
製粉を考えざるを得ない社会である（図－３）（３）

Fig-3, Wartime mill

大量のパン用製粉には、それに対応する石臼工場
が存在していて（図－４）（４）フランスの石臼工場
を例示する。

Fig-4 Mill stone factory

ビクトリア時代のイギリスの水車大工の店を例示する、
(図-5)(5)

Fig-5, Millwright shop

まとめにかえて

この様に、欧米系の水車大工は、部品を組み合わせて
水車場を組み立てるシステムエンジニアに発展していった。

参考文献

- (1) 三谷一馬、「江戸職人図聚」中公文庫、2001、
- (2) 前田清志、「くも手とからみの型式」産業考古学32号1984、
- (3) Organ, 「MILITARY AND NAVAL MILLS」TIMS1983、
- (4) Ward, 「FRENCH MILLSTONES」1993、
- (5) Major and Watts, 「Windmills and Watermills」1977、